

LIBRARY



入学式も始業式も延期のままゴールデンウィークを迎えようとしています。図書館では、新学期の準備をしながら、皆さんの来館を待っていましたが、現時点ではまだ先が見えません。そこで、表面は新刊を、裏面は、74回生はすでに利用できるスクールEライブラリー（72回生、73回生の皆さんにも、お試し版が使えるようにしました。同封したID一覧から、自分のクラスと出席番号を確認して、ログインしてください）や、ネットで無料で読めるサイトの紹介を載せています。こういう時だからこそ、一人の時間を豊かにできる「読書」の醍醐味をぜひ実感してくださいね！

線は、僕を描く 砥上裕将著 講談社



高校生の時、突然の事故で両親を失った霜介は、生きることへの気力を失ったまま、大学生となる。ある日、水墨画展の会場設営のアルバイトを頼まれ、そこで世界的な水墨画の権威、篠田湖山に出会う。湖山は、水墨画を描いた経験もない霜介の中に隠れた才能を見出し、彼を内弟子に誘う。初めて、水墨画の世界の奥深さに触れた霜介は、湖山の孫で才能あふれる千瑛と共に、1年後の湖山賞を競うことになるのだが…。墨一色で描かれているのに、極彩色の絵画にひけをとらない。むしろ制限が多いからこそその豊かさを持っている。自身も水墨画家である著者が描く、悲しみからの再生の物語は、メフィスト賞他、多数の賞を受賞！

わたしの美しい庭 凧良ゆう著 ポプラ社



小学生の百音が一緒に暮らしているのは、血の繋がらない父、統理。元妻と再婚相手の子なのだが、その母を失った百音を引きとり5歳のときから育ててくれている。統理は翻訳の傍ら、両親から継いだ大家兼宮司の仕事もこなす。彼が継いだ（縁切り）寺は、なんとマンションの屋上にあり、そこには美しい屋上庭園が広がる。百音、統理をとりまく、何かしらの因縁があるわけアリの人々が織りなす物語は、煮詰まってしまった関係性を柔らかくほぐしてくれるものだった。今年度本屋さん大賞に輝く著者の話題作です。（『流浪の月』も入っていますよ！）

発注いただきました！ 朝井リョウ著 集英社



2009年、綺羅星のように現れた大学生作家朝井リョウ氏も、早デビュー10周年。この10年、さまざまな有名企業（森永製菓、ディオール、JT、JRA、アサヒビール、etc.）からオファーを受けて書いた原稿から短編小説14本、エッセイ4本を集め、発注内容→本文→自己解析で構成されている本です。ネット上の企画が好評で、書籍化されたものですが、自分の書きたいテーマで書くと、どうしても「心がざわつくような違和感」を求めてしまうという著者が、タイアップのお題をもらったときは、制約のなかで書くことの楽しさがあるという。実は作家としてのいいトレーニングになっていたといえます。皆さんが学校で出される課題も、考えてみると同じかも…ですね。やりたいことを追求することが真の学びだとしても、とりあえず課題に真剣に向きあってみることで知らず知らず自分に力がついているという意味では。

イマジン？ 有川ひろ著 幻冬舎



浩をひろに改名してからの初長編。物語の主人公は、映像制作現場に憧れていた主人公の良井良助、27才。念願叶って、「殿村イマジン」に入社！そこでかかわるのが、ドラマ「天翔ける広報室」の制作。これって、もちろんあの自作『空飛ぶ広報室』のことですね。実際にドラマ化がされたので、見ていた人は、よりリアルに想像できるかもしれませんね。ドラマや映画を作るには、どれだけの人たちが心を砕いているのかが、伝わってきます。お仕事小説としてもおススメです。

NHK 国際放送が選んだ日本の名作 双葉社



NHK World JAPANのラジオ番組で、世界17言語に翻訳して放送された、人気作家8人の短編を収録したものです。朝井リョウ「清水課長の二重線」、石田衣良「旅する木」、小川洋子「愛されすぎた白鳥」、角田光代「鍋セット」、阪本司「迷子」「物件案内」、重松清「バスに乗って」、東直子「マッサージ」「日記」、宮下奈都「アンデスの声」です。誰を読もうかな…と悩んだ時は、ここに上がった作家さんの作品はどうでしょう？

星の王子さま サン＝テグジュペリ著 角川つばさ文庫



角川つばさ文庫シリーズは、かつての名作が、まったく違う表紙で生まれ変わっています。で、こちらも西原理恵子さんの絵です。翻訳も、読み手を子ども達に想定しているせいか、これまでの翻訳文とはちょっと違います。実は『星の王子さま』は、2005年に著作権が切れたため、さまざまな出版さから新訳が出されています。その違いを楽しんでもらうために、いろいろなバージョンを買ってみました。翻訳に関心がある人は、ぜひ比べ読みしてみたいかがでしょう？

ロボット インザ ガーデン D. インストール著 小学館



やり手の妻とダメ夫…みたいな夫婦が暮らす庭にある日時代遅れのポンコツロボットがやってきて動こうとしない。妻のエイミーになんとかしてと言われて夫ベンがしかたなく近づいてみると、それは四角い胴体に四角い頭が乗っかっている、かなり古い時代に作られたロボットだった。タングという名前だけはわかったが、会話も遅遅として進まない。今風の

アンドロイドロボットにしか興味のない妻の冷たい視線に、ベンはタングを修理するために、製造元があるはずというカリフォルニア目指し二人の珍道中が始まる！

もやしもん感染症屋の気になる菌辞典 岩田健太郎著



著者は、感染症の専門医としてその発言が多くの国民から注目されています。この本は、2017年の発行ですが、その前の年、「メディカル朝日」という雑誌に連載をしたものです。微生物学とは、医学生にも医者にも不人気な科目のひとつだそうです。それは大量の微生物を丸暗記しなくてはならないと多くの学生は思っているから。けれど、感染症を引き起こす微生物は、常に人類との戦いの歴史があり、エキサイティングな学問なのだ！

～ 無料で読めるこんな本も！～



「病気の魔女と薬の魔女」岡田晴恵著 学研

最近テレビでもよくお見かけする感染症専門医の岡田晴恵先生は、実は児童文学作家という顔も持っています。この本は、病気の魔女と薬の魔女の闘いを通して、病気についての正しい知識と予防法を、伝えるために創作したファンタジーです。3部作なのですが、うち2作品が只今無料で読めます！

青空文庫の児童文学全サーチ

17歳の特別教室



青空文庫に収められた作品から、児童向けの作品だけ検索できます。読むのにかかる時間もわかる！

17歳ぐらいが対象なので、ちょっと難しいかもしれませんが。

スクールeライブラリーから紹介（主人公は10代！）* 紹介文は出版社のものです。

岩波書店

影との戦い（ゲド戦記1）ル・グイン著

大魔法使いオジオンに、才能を見出された少年ゲド。自分に並はずれた能力がそなわっていることを知ると、魔法の力にさらに磨きをかけようと、魔法の学院に入る。得意になった彼は禁じられた呪文を唱え、自らの〈影〉を呼び出してしまい、〈影〉との果てしない戦いに引き込まれていくことになる。大賢人ゲドの若き日の物語。

講談社

大盛りワックス虫ボトル 魚住尚子著

無気力で存在感の薄い江藤公平。ある日、目の前に突然現れた小さな虫みたいな生き物は公平に、「ひとを1000回笑わせろ」と命令する。いったいなぜ？ それまで接点のなかった中2男子3人は、それぞれの理由から、トリオを組んで文化祭のお笑いステージに挑む！

河出書房新社

平成マシンガンズ 三並夏著

逃げた母親、横暴な父親と愛人、そして戦場のような学校.....逃げ場のない中学生のあたしの夢には、死神が降臨する。そいつに「撃ってみろ」とマシンガンを渡されて!? 史上最年少15歳の文藝賞受賞作。

ポプラ社

ひみつのスイーツ 林真理子著

神社の石の柱にあいた穴から、66年前の戦争中の日本に生きる雪子へお菓子を送る理沙。二人にはいつの間にか、深い絆が結ばれていた。雪子とケイタイでつながった理沙。小さなタイムトンネルで結ばれた、出会うはずのない二人に芽生えた友情の物語。児童書版。

偕成社

二年間の休暇 ジュール・ヴェルヌ著

寄宿学校の生徒14人と見習い水夫モコを乗せた帆船が嵐にあい、無人島に漂着した。少年たちは、この島を「チェアマン島」と名づけ、自分たちの生活をきずいていく。冒険物語の古典の完訳。

学研プラス

浅田真央 さらなる高みへ 吉田順著

バンクーバー五輪で頬をつたった「悔し涙」。それは、浅田真央にとって新しいスタートとなった。苦悩や葛藤、悔しさを、前に進むエネルギー、そして笑顔に変えて、浅田真央の、ソチ五輪に向けての新たな物語が、いまはじまる。(2011年の作品なので、浅田真央さんも十代だったころですね。)

このほか、読み継がれている名作もいろいろ読めますよ。